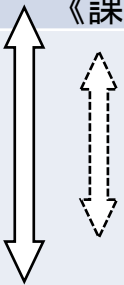


# 6 必須事項略案モデル (小1)

年組	小1年	教科	国語	指導者		
単元・題材	こえにだしてよもう「くじらぐも」					
ねらい	登場人物の行動や会話から感じたことについて、くじらぐもにのることができたわけを文中の言葉や動作化をもとに交流する活動を通して、想像を広げて読むことができるようにする。					
評価規準 [観点](見取る方法)	[読む能力]くじらぐもに乗れたわけを、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。(ノート・動作化)					
展 開	【めあて】	くじらぐもにのることができた子どもたちのようすをよもう				
	《課題》	なぜ子どもたちはくじらぐもにのることができたのかな				
		<学習活動> ・子どもたちが言ったことやしたこと在线上を引く ・くじらぐもの応援の言葉を見つける ・気持ちの変化や声の大きさを動作化する				
		《まとめ》	・みんなで力をあわせてジャンプしたから ・くじらぐもが応援してくれたから			
		【振り返り】	子どもたちやくじらぐもに言ってあげたいことをワークシートに書き、ペアで交流させる。			

# 6 必須事項略案モデル (小1)

年組	小1年	教科	地球未来科(総合)	指導者	
単元・題材	佐田神社を探検しよう				
ねらい	佐田神社のすごいところを、他校の1年生に伝えるためにもの・しぜん・人の視点で分類し焦点化することを通して、納得解を共有し選ぶことができるようにする。				
評価規準 [観点](見取る方法)	[思考力・判断力・表現力]Yチャートを用いて分類し、優先順位の根拠を表現している。(Yチャート)				
展 開	【めあて】	つたえたいすごさをえらぼう			
	《課題》	1ばんつたえたいのはどれかな			
		<学習活動> ・すごさを書いた付箋をYチャートで分類する ・Yチャートのそれぞれから1つ選び理由を書く ・互いの発表から「いいね・アドバイスカード」に記入する			
	《まとめ》	人⇒神社を守っている。もの⇒本殿・彫刻・反射炉 自然⇒秋はもみじやどんぐりがきれい			
	【振り返り】	いろいろなすごさがあることがわかった。			

# 6 必須事項略案モデル (小1)

年組	小1年	教科	算数	指導者	
単元・題材	ひき算2				
ねらい	繰り下がりのあるひき算の仕方について、ブロックを操作して考えることを通して、減加法が速くて簡単なことに気づかせる。				
評価規準 [観点](見取る方法)	[数学的な考え方]ブロックを操作し、減法の計算の仕方を考えている。 (ノート)				
展 開	【めあて】	はやくてかんたんなひきざんのしたかをかんがえよう			
	《課題》	どこから9をとるとよいか			
		<学習活動> ・ブロックを操作して考える ・ノートに図をかいて、説明できるようにする ・ペアで説明し合い、一緒にやってみる ・全体で交流し、速くて簡単な方法を考える			
	《まとめ》	10から9をとるとかんたん			
	【振り返り】	9は10に近いから10から引いたほうが速くてかんたん。			



# 6 必須事項略案モデル (小1)

年組	小1年	教科	道徳	指導者	
単元・題材	みんなが気持ちよく「きいろいベンチ」				
ねらい	みんなが気持ちよく生活することについて、二人の男の子がはっとして顔を見合わせたときの気持ちを考えることを通して、約束や物を大切にしようとする心情を育てる。				
評価規準 [観点](見取る方法)	約束を守ることや物を大切にすることの大切さを自分に置き換えて考えたり、多面的・多角的に考えたりしている。(ワークシート・振り返り)				
展開	【めあて】	みんなのものをつかうときに大切なことを考えよう			
	《課題》	はっとしてかおを見あわせた二人はどんなことをかんがえたのかな			
		<学習活動> ・場面絵から二人の表情の違いの理由を考える ・ワークシートに自分の考えを書く ・ペアで交流したあと全体で話し合う			
	《まとめ》	自分たちのことしか考えていなかったことに気づき反省した			
	【振り返り】	今までの生活を振り返って、感じたことや気をつけよう思うことは何かな			